

**[Poster] 一般演題ポスター 【抄録・スライド】****[P23-08] 薬剤師によるアンデキサネットアルファ投与の支援体制**

\*金高 悠哉<sup>1</sup> (1. 国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 薬剤科)

【背景・目的】 アンデキサネットアルファは、直接作用型第Xa因子阻害剤中和剤である。必要時には迅速性が求められるが、投与法は煩雑である。今回、薬剤師による投与支援体制を整備したので報告する。【方法】 セット処方、投与手順書、物品セットを作成した。投与決定の連絡を受けた後、薬剤師は適応と投与法を確認し、薬剤の運搬および調製を補助する運用とした。2023年8月から2024年2月において調査した。【結果】 投与症例は3例で、いずれもセット処方が活用され、適応および投与法は適正であった。投与法、対応した薬剤師の経験年数、投与決定の連絡有無、処方入力から投与までの時間は、1例目はB法、8年目、有、52分、2例目はA法、1年目、有、30分、3例目はA法、3年目、無、149分であった。3例目においては薬剤師介入から投与までの時間は60分であった。また、対応した薬剤師はいずれも救急領域の担当でなかった。【考察】 セット処方の作成と体制の整備により、薬剤師の経験年数や担当領域によらず、適正投与の支援が可能となった。投与方針を速やかに共有し、薬剤師が早期に介入することで、迅速な投与に寄与する可能性が考えられた。